



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 ディップ株式会社

コード番号 2379 URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 渡辺 永二

TEL 03-5114-1177

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	9,439	37.3	1,082	—	1,069	—	532	—
25年2月期第3四半期	6,873	△17.8	62	△82.0	45	△85.7	△39	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	48.21	48.17
25年2月期第3四半期	△3.58	—

平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	7,005	—	3,911	—	—	55.8
25年2月期	5,830	—	3,459	—	—	59.3

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 3,911百万円 25年2月期 3,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年2月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当5円00銭

詳細は、本日(平成26年1月10日)公表いたしました「平成26年2月期 配当予想の修正(増配・記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	40.0	1,302	424.0	1,285	450.6	656	964.7	59.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	12,400,000 株	25年2月期	12,362,000 株
26年2月期3Q	1,326,734 株	25年2月期	1,326,700 株
26年2月期3Q	11,053,158 株	25年2月期3Q	11,125,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成26年1月14日(火)に当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、政府による経済政策や日銀による金融緩和政策等を背景に、円高の是正や株価の上昇が進み、企業収益や個人消費に改善の傾向がみられており、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

国内の雇用情勢につきましては、平成25年11月の完全失業率(季節調整値)は4.0%と、前月と同率で推移し、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント上昇の1.0倍となり、平成19年10月以来、6年1カ月ぶりに1倍台となる等、回復基調が継続しております。一方、首都圏においてはアルバイト需要の高まりを受け、アルバイト採用が困難な状況も見られております。

このような環境のなか、求人広告事業を展開するメディア事業のアルバイト求人情報サイト「バイトルドットコム」におきまして、媒体力強化のための新機能、新サービスを展開するとともに、過去にない積極的なプロモーション活動を実施してまいりました。また、派遣求人情報サイト「はたらこねつと」におきましても、大幅なサイトリニューアルを実施し利便性の向上に努めてまいりました。

また、エージェンツ事業におきましても、看護師集客力向上のための新たなサービスを展開し、事業の強化を図ってまいりました。

これらの施策に加え、景況感の回復による顧客の求人需要の高まりを受け、当第3四半期累計期間の売上高は94億39百万円(前年同四半期比37.3%増)となりました。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の堅調な推移に加え、販管費の効果的使用等により、営業利益は10億82百万円(前年同四半期は営業利益62百万円)、経常利益は10億69百万円(前年同四半期は経常利益45百万円)となりました。なお、四半期純利益は5億32百万円(前年同四半期は四半期純損失39百万円)となりました。

また、社会貢献活動の一貫として、平成25年5月31日より、当社サービスによる従業員募集時の時給アップを支援する『レイズ・ザ・サラリーキャンペーン』を実施しております。同キャンペーンでは、日本銀行が発表した物価上昇率2%の導入目標に対して、正社員のみならずアルバイト・パート等の非正規社員の給与増加も目指すべく、取引先に対して、当社採用コンサルタントより、当社媒体への求人広告の掲載の際、従業員募集時の給与アップについて交渉しております。賛同いただいた取引先の求人情報には『Raise the Salary』のマークを表示し、給与が上がっていることを求人広告サイトにてアピールするキャンペーンとなります。同キャンペーン開始より多くの企業の賛同を受け、参画企業数は11月末時点において累計1,000社を超え、当社媒体のアルバイト平均時給につきましても、11月の平均時給はキャンペーン開始の5月と比較し3.2%上昇するという結果となっております。当社は今後も、日本経済の活性化を支援し、社会的な問題解決の一助となるよう取り組んでまいります。

なお、当社は、平成25年12月12日、東京証券取引所マザーズ市場から市場第一部へ市場変更いたしました。これもひとえに株主の皆様方をはじめ、多くの関係者の皆様方からの日頃のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業におきましては、求人広告事業である「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」等の事業を運営しております。

「バイトルドットコム」におきましては、紙媒体にはできない機能の追求を継続しており、勤務先の“見える化”をコンセプトにした機能拡充の他、仕事内容を分野別に掲載した新サイト、「カラーバイトル」を開始し、働きたい分野が特定されている志向性の高いユーザーに対して各分野で豊富な情報を提供してまいりました。また、動画機能の画質の向上や、採用が決まった際、支度金や祝い金がもらえることを表示する「Happyボーナス」マークを設置する等、媒体力の強化を図ってまいりました。

さらに、当社イメージキャラクターである女優の上戸彩さん出演のTVCF放映の他、新たにアーティストのKREVA（クレバ）さん、タレントの鈴木奈々さんを起用したTVCFを放映し、同サイトの機能や独自性を訴求することで、認知度の向上及びユーザー基盤の強化に努めてまいりました。

「はたらこねっと」におきましては、利用者の急増が見込まれるスマートフォンサイトの機能拡充を中心に大規模なリニューアルを実施いたしました。今回のリニューアルは、従来のPC版サイトの利便性を向上するとともに、スマートフォンサイトにおける検索機能や応募機能を充実させることで、さらなる利便性を追求しております。また、応募獲得の効果が高いWEB広告を中心に広告宣伝活動を展開し、認知度の向上及びユーザー基盤の強化を図ってまいりました。

上記施策とともに、販売強化に努めることにより、「バイトルドットコム」、「はたらこねっと」の契約社数及び掲載情報数の拡大に注力した結果、当セグメントにおける売上高は76億36百万円(前年同四半期比29.7%増)となりました。セグメント利益は18億26百万円(前年同四半期比22.7%増)となりました。

また、11月下旬より新たに総合転職情報サイト「転職Gold」をスタートしております。同サイトは、求人広告の掲載を無料とし、応募者が採用に至った場合に課金となる「採用成功報酬型」のサービスです。さらに、採用が決定した求職者の方へ「Happyボーナス」（転職祝金）を支給いたします。今後は当社の他のサイトで培ったノウハウを活かし、クライアントニーズに応じてまいります。

②エージェント事業

エージェント事業におきましては、「ナースではたらこ」サイトへご登録いただいた転職を希望される看護師へ、医療機関を紹介する人材紹介事業を運営しております。

同事業では、「看護の日」である5月12日に、看護師のための会員制特典割引サービスとして、新サイト「パンダクラブ」を開設し、セミナー開催や学習コンテンツの無料提供等、転職以外の場面において看護師を支援するとともに、登録者数増加に向けた基盤強化を図ってまいりました。

また、効果的広告宣伝施策による応募者の獲得に注力するとともに、登録画面の改修等を実施し、ユーザーの利便性向上にも努めてまいりました。

さらに、当社サービスを通じて転職し、入職後半年間の就業及びアンケート回答者を対象に「Happyボーナス」として最大10万円を支給することで、転職先での長期勤務を後押しし、看護師の満足度向上、登録者の拡大に努めてまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は18億2百万円(前年同四半期比82.8%増)、セグメント利益は2億34百万円(前年同四半期はセグメント損失4億69百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末における資産は、前事業年度末と比較し11億75百万円増加し、70億5百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加5億5百万円、売掛金の増加5億48百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し7億23百万円増加し、30億94百万円となりました。主な要因は、未払金の増加4億60百万円、未払法人税等の増加4億56百万円及び借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が4億15百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し、4億52百万円増加の39億11百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加4億44百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年12月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更はございません。

また、通期の業績見通しを勘案し、平成25年4月11日の決算短信で公表いたしました配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年1月10日）公表いたしました「平成26年2月期 配当予想の修正（増配・記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,981,322	2,486,582
売掛金	1,080,187	1,628,450
仕掛品	1,592	368
その他	341,814	417,774
貸倒引当金	△88,625	△104,116
流動資産合計	3,316,292	4,429,060
固定資産		
有形固定資産	306,970	360,413
無形固定資産		
ソフトウェア	1,651,895	1,556,618
その他	2,208	202,139
無形固定資産合計	1,654,103	1,758,757
投資その他の資産		
その他	478,658	439,737
貸倒引当金	△8,352	△7,455
投資その他の資産合計	470,306	432,282
固定資産合計	2,431,380	2,551,453
繰延資産		
開発費	82,539	25,396
繰延資産合計	82,539	25,396
資産合計	5,830,212	7,005,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	121,972	136,269
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	446,700	30,900
未払金	314,628	774,846
未払法人税等	72,568	528,845
返金引当金	40,302	36,980
資産除去債務	26,211	—
その他	232,291	333,964
流動負債合計	2,254,673	2,841,805
固定負債		
資産除去債務	87,755	132,946
その他	28,452	119,629
固定負債合計	116,208	252,576
負債合計	2,370,881	3,094,381

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,085,000
資本剰余金	1,131,709	1,135,509
利益剰余金	1,741,535	2,186,154
自己株式	△495,113	△495,134
株主資本合計	3,459,330	3,911,529
純資産合計	3,459,330	3,911,529
負債純資産合計	5,830,212	7,005,910

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	6,873,168	9,439,470
売上原価	1,057,897	1,205,914
売上総利益	5,815,270	8,233,556
販売費及び一般管理費	5,752,768	7,151,047
営業利益	62,502	1,082,508
営業外収益		
受取利息	137	134
保険配当金	—	5,837
貸倒引当金戻入額	11,009	—
その他	5,120	4,961
営業外収益合計	16,267	10,933
営業外費用		
支払利息	12,476	8,020
シンジケートローン手数料	18,560	14,894
その他	2,333	1,392
営業外費用合計	33,371	24,307
経常利益	45,398	1,069,134
特別損失		
固定資産除却損	1,277	0
減損損失	47,800	—
特別損失合計	49,078	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△3,680	1,069,134
法人税、住民税及び事業税	10,774	552,199
法人税等調整額	25,382	△15,966
法人税等合計	36,156	536,232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,836	532,901

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	メディア事業	エージェンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	5,887,008	986,159	6,873,168	—	6,873,168
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,887,008	986,159	6,873,168	—	6,873,168
セグメント利益 又は損失(△)	1,488,106	△469,692	1,018,414	△955,912	62,502

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△955,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、これまでセグメント区分を「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ナースではたらこ」「ジョブエンジン」「その他」としておりましたが、第1四半期累計期間の組織変更に伴い、従来「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ジョブエンジン」「その他」としていた区分を「メディア事業」に統合し、「ナースではたらこ」を「エージェンツ事業」に変更しております。これに伴い共通経費の配賦についても一部見直しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	メディア事業	エージェンツ事業		
減損損失	—	—	47,800	47,800

(注)「全社・消去」の金額は、各報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	7,636,541	1,802,928	9,439,470	—	9,439,470
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,636,541	1,802,928	9,439,470	—	9,439,470
セグメント利益	1,826,312	234,127	2,060,440	△977,932	1,082,508

(注) 1. セグメント利益の調整額△977,932千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。